

# ぶんだ会計通信

## ■ビジネスと空想■

“ビジネスに遊びというスパイスを”  
企み第2弾！空想をビジネスに生かす、  
の続編です。

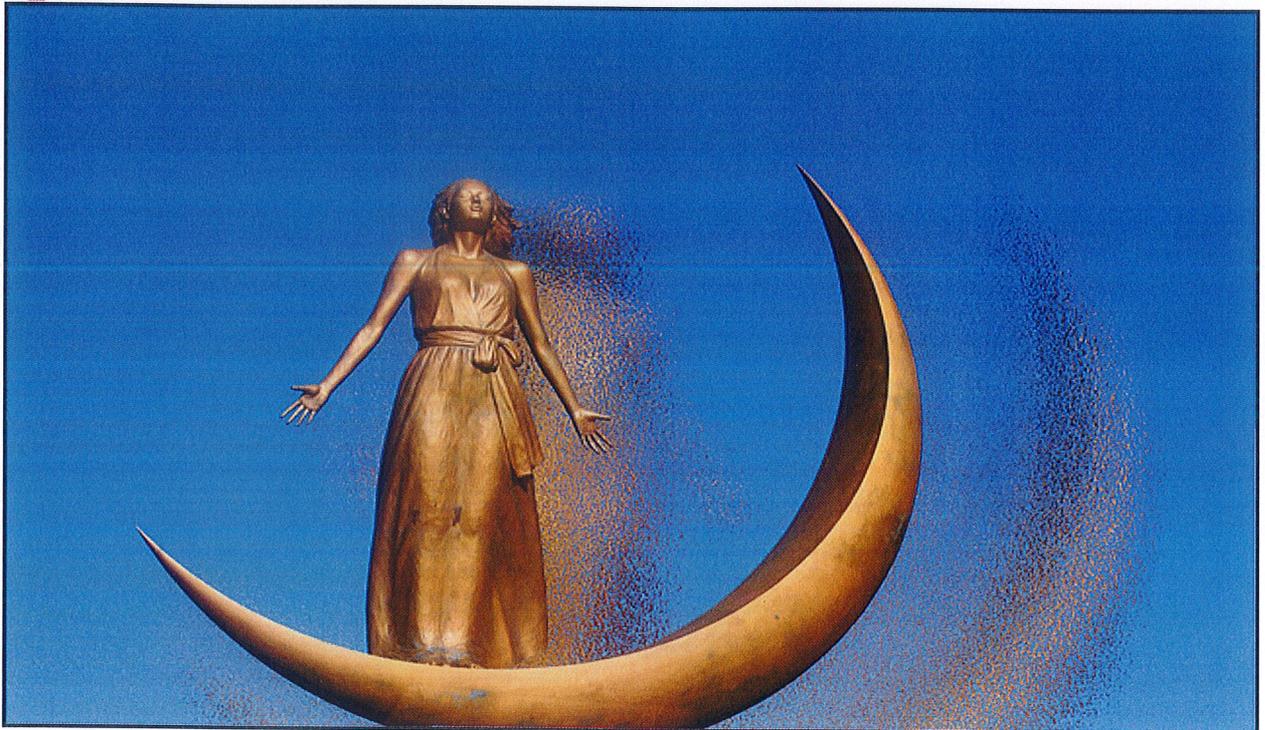
アタマがやわらか～くなってきたら、  
次は、ショートショートをビジネスに寄  
せて作ってみましょう！



令和6年

11&12月号

No.78



短くて不思議なストーリーをつくろう！

## 『ビジネスと空想』～あなたの妄想！？をビジネスに生かす～Part.2

### ① <前月号おさらい>～“空想”エクササイズで自らの感性を引き出そう

前月号では、ズバリ！“あなたの空想をビジネスに生かす”がテーマ。短い物語（ショートショート）をつくり、事業アイデアのヒントを生むことをゴールとしていますが、まずはアナタの空想力をちょっとだけ刺激して、ビジネスとは関係のないショートショートをつくって楽しんでみる、という企画が9&10月号でした。

空想は一見、難しそうですが、メソッドを活用することで発想力が鍛えられて自分でも物語が意外にもつくれるようになります。9&10月号で紹介した。メソッドは以下の3ステップでしたがチャレンジしてみましたか^^？

- ◎ステップ【1】・・・きままに名詞を探し、そこから思いつくものを挙げる
- ◎ステップ【2】・・・不思議な言葉を探す
- ◎ステップ【3】・・・不思議な言葉から空想を広げる

空想を広げることが難しいと感じられた場合は、まずはモノやコトを擬人化したりして、**空想エクササイズ<その①>**を実践してみてください（空想エクササイズ<その①>は9 & 10月号の③で事例を紹介しています）。**複雑でふわふわとした不思議な感覚**を楽しんでください。

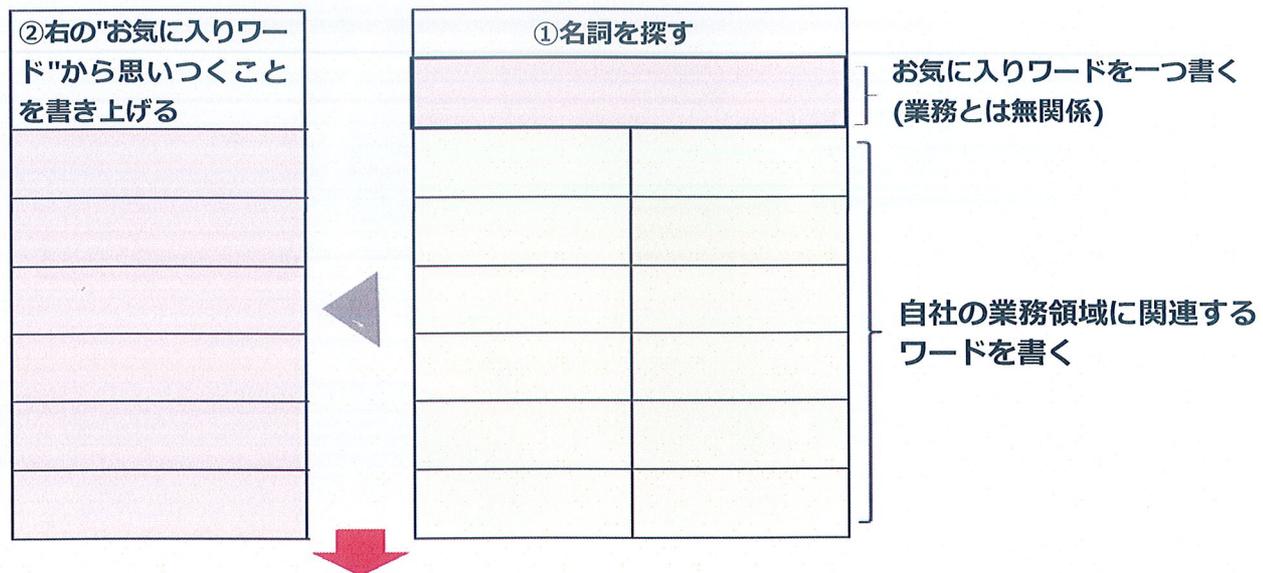
そして今回号では、さらに少しビジネスに寄せて、**ショートショートで事業アイデアのタネ探し**をテーマに、事例も交えながら進めていきます。

## ② 空想フレームワーク（ビジネス編）

上記の3つのステップを少しだけビジネス用にアレンジしたものが下記のフレームワークです。

といっても前号と大きな変更はなく、“**きままに名詞を探す**”ところを“**自社の業務領域に関連するワード**”に変え、さらに、**一つだけ業務領域とはまったく無関係の“お気に入りワード”**を書いてみるという点だけが変わります。“お気に入りワード”とは、趣味や好きな食べ物や生き物など何でもOKです。

次にお気に入りワードから連想するキーワードを書き上げていきます。そして、連想ワードと業務領域ワードを組み合わせる不思議な言葉をつくっていきます。では、次の③の事例を参考に、一緒にやっていきましょう。



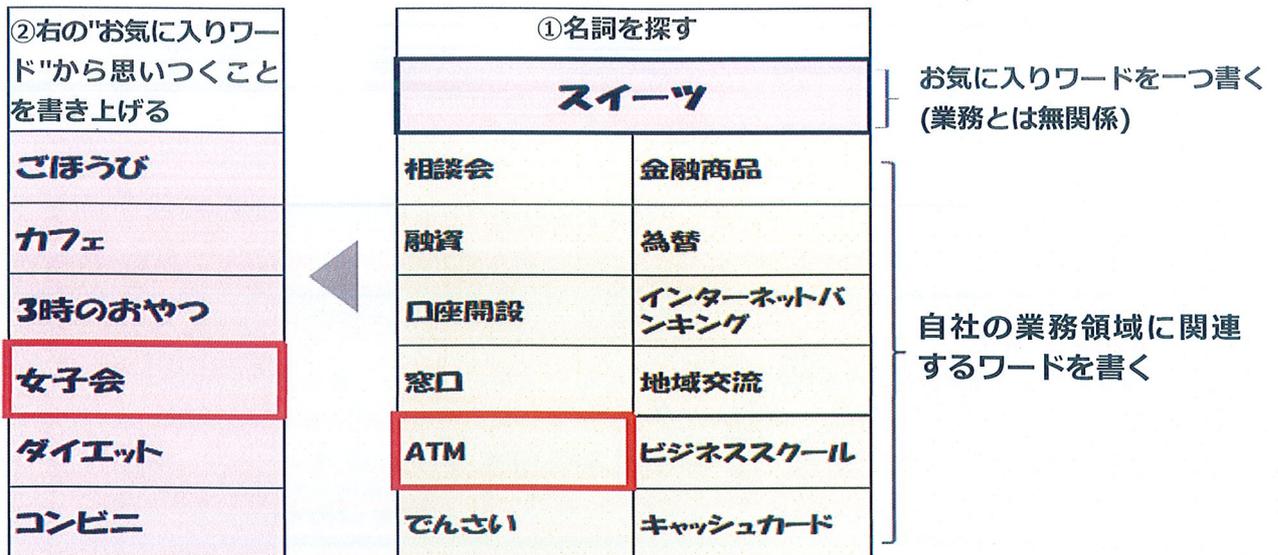
### ③両者をいろいろ組み合わせて"不思議な言葉"をつくる



## ③ 空想フレームワーク（ビジネス編）の事例（金融業のケース）

ショートショート作家の田丸雅智氏のサイト（[海のかげら \(masatomotamaru.com\)](http://masatomotamaru.com)）には、みずほ銀行の行員たちがワークショップに参加して執筆したショートショート作品が公表されていますので、それを参考事例として取り上げます（作品の作り方を説明するため、次ページのフレームワークは当事務所で独自に作成させていただきました）。

まず、②のフレームワーク①の欄に名詞を書き挙げていきますが、ここには **自社の業務領域 = 事例では“金融業（銀行）”** に関する名詞を記入します。①の最上欄に、**業務とは無関係な自分の好きなコト・モノの言葉**を書きます。事例では、好きな言葉は『スイーツ』です。続いて②では、『スイーツ』から連想する言葉を自由に書いていきます。そして、①の業務領域の言葉と②の連想ワードをいろいろと組み合わせて不思議な言葉をつくります。事例では、スイーツから連想された「女子会」と「ATM」が組み合わさった不思議な言葉ができました。



③両者をいろいろ組み合わせて"不思議な言葉"をつくる



④不思議な言葉から想像を広げ、短い物語をつくっていきます

#### ④ ショートショート事例（「MIZUHO'S MICROSTORY AWARD」編）

みずほ銀行のパーパス『ともに挑む、ともに実る』を体現し続けるための近未来を小説に描いてみたら…?のテーマで、行員たちが自ら執筆した作品の一つが③の下記の「女子会中のATM」というショートショートです。

実際に制作された作品の数々には、ATMにまつわるものが多くあったそうで、その共通点はATMの“擬人化”。モノに新たな命を吹き込んで空想を膨らせるのは、まさに小説の醍醐味ですね！

<創作ショートショート事例 1> タイトル：『女子会中のATM』

とある田舎のATMコーナーでは、毎日女子会が開かれている。コーヒー片手にケーキを食べつつ、ATMたちが楽しくおしゃべりをしているのだ。今年支店に入った新入社員がどうだ、お札の補充が遅い、などとりとめのない話で盛り上がっている。

「あらあら、今日もにぎやかなね」  
近所に住む山田さん（85）がやってきた。  
「山田さん、今日は年金支給日だもんね。いくらおろす？」  
とベテランATMのトシコが聞く。  
「実は、孫が交通事故を起こしたから、100万円振り込んでって言ってきてねえ……」  
「山田さん！それ、詐欺よ！絶対に振り込んじゃダメよ！！とりあえず、一緒にケーキでも食べて落ち着いて」  
いつもにぎやかなATM。実はみんなを守っている。

人生100年時代の大きな課題が「孤独」。ATMを単なる便利な機械ではなく、世話焼きさんのあたたかさをATMから感じ取ることで、銀行の変わらない人情味をうまく表現していると思いました。

他の作品にも、みずほ銀行の目指す未来（「個人の幸福な生活の追求」など）をうまく表現しているものが数多くありました。

「しあわせ、融資いたしましょうか？」

会社をクビになり、日々の運転資金をまかなうべく、投資商品を解約しに行った銀行でそう尋ねられた。聞くと、日本中の幸福な人間から集めた“しあわせ”を無利子で融資してくれるようで、どうやら私の不幸ぶりを心配して声をかけてくれたらしい。

どれくらいの額を借りられるのか聞くと、「将来の幸せのCFを現在価値に割り引いたもの」、いわゆるDHF (Discount Happiness Flow) によって算出された額を上限に借りられるようだ。

借入条件として、将来のDHFが増加する出来事があれば、その分借入額も減少するが、逆も然りなようだ。

これはよい話だと思い、契約書をもらおうと気になる一文が。「もし、自らのしあわせが余ったら、銀行に預けなければなりません」一瞬悩んだが、サインした。もし、そんな日がくれば、そのときはいくらでも貸し付けてやろう。

そうして僕は10年後、しあわせレバレッジをかけ、世界一の“億万幸福者”となった。

**融資などの銀行業務を通じて、“幸せの還流”を目指す柔らかなアイデアが創出できそうですね。**作品は行員だけでなく、頭取など役員の方々も自ら執筆に挑戦されていました^^。

その他に、「歌うキャッシュカード」「夢ATM」「汗かく両替機」「日本酒銀行」「毛だらけ金利」といった“不思議な言葉”が生まれてきたようです。想像しただけで楽しくなってきますね！

## ⑤ ビジネス還元できるアイデアを抽出してみる

一連の「MIZUHO'S MICROSTORY AWARD」を通じて、「**銀行業務は各社似たようなサービスになるが、発想力を磨けば他社と異なるサービスが提供できるようになると感じた**」といったリーダーのコメントが寄せられていました。銀行業務に限らず、他の業種も同様だといえます。

さて、ショートショートができた後は、**実際のビジネスや現実に還元できることはないかを読み解いていきます**。実際に実現できるかは技術的な課題や法律、倫理の面なども考慮していく必要がありますが、「荒唐無稽すぎてどれもムリ！」と決めつけてしまうのはもったいないと思いますので、**自社の業務領域にとらわれすぎずにアイデアの種を見つけていきましょう！**

前掲のショートショートの場合、ATMそのものを改変するのは不可能でも、たとえば窓口業務において、ちょっとしたコミュニケーションの工夫はできないか？などを考えてみます。

田丸氏の著書では、ワークショップにはこんな側面もある、としています。

- ◎単なる“明るい未来”だけでなく、危機感を持った将来も、経験と重ね合わせながら描ける
- ◎普段は話題にしにくい繊細なテーマも、物語の感想として自分の価値観を発信できる
- ◎「表現したい」とか「書きたい」という潜在的な想いに気づける

**自分の妄想に自信を持ち、空想で世界を彩ってみるのはいかがでしょうか？**

当事務所のショートショートも、今後、ブログにて発表していく予定です♪

<参考文献>文中のストーリーは、Forbes JAPANの別冊ブランドブック「みずほフィナンシャルグループ創立150周年記念特別号」(2024年春号)から引用しています。田丸雅智著『ビジネスと空想 空想からとんでもないアイデアを生み出す思考法』(クレスティア・パブリッシング、2023年)、『こども小説教室』(キノックス、2018年)

◎当事務所では、通常の事務所業務のほか、ショートショートづくりのサポートも行っております。お気軽にお声かけください♪



発行元：

権田公認会計士・税理士事務所  
〒373-0853 群馬県太田市浜町3-6  
太田商工会議所会館4階



TEL：0276-49-5575  
FAX：0276-49-5576  
HP：<http://gonda-office.com/>